



2



3



4

1 キューズモールの4番目のSC「もりのみやキューズモールBASE」。球場の形をモチーフに、曲面と列柱のデザインを取り入れ、旗や植物のカーテンを用いた正面エントランス。2 JR森ノ宮駅より徒歩約3分、大阪市営地下鉄森ノ宮駅より徒歩約1分とアクセスに優れた立地。複数の建物の屋上をつなぐランニングトラックが一番の特徴。3 阪神高速13号東大阪線の向こうには、大阪城公園が広がる。大阪城を望みながら、ランニングやウォーキングが楽しめるのも大きな魅力。4 開放感のある1階のイベント広場「BASEパーク」は球場型になっていて、公式寸法のホームベースとピッチャープレートがある。ステージでは多彩なイベントが開催される。5 市民参加型のコミュニティ・ライブラリー「まちライブラリー@もりのみやキューズモール」。利用者がおすすめの本を感想付きで持ち寄り、蔵書を増やしていく。カフェとFMのサテライトスタジオも併設。6 2階フードコート「キューズキッチン」には、たこ焼き、ちゃんぽん、ハンバーガー、海鮮丼、うどん・そばを提供する5店舗が入り、約300席を用意。7 カフェごはんやスイーツのほか、美と健康を意識した限定メニューを提供する「ハンズカフェ」。毎日の美習慣をテーマに、雑貨やコミュニケーションスペースも。8 鹿屋アスリート食堂が手がける「バランス食堂&カフェ アスショク」は関西初登場。リカバー、パワーなどカテゴリーごとに提案するアスショク定食は5種類。

概要

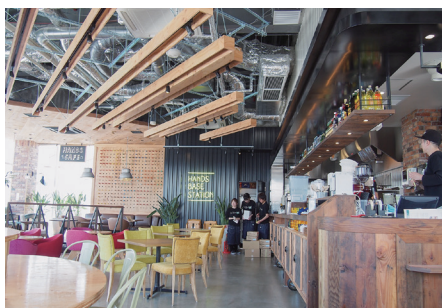
所在地：大阪市中央区森ノ宮中央2-1-70
開業日：2015年4月27日(月)
総店舗数：49店舗
敷地面積：22,929.34㎡
延床面積：24,676.36㎡
駐車台数：約400台
開発：東急不動産(株)
管理運営：東急不動産SCマネジメント(株)
設計施工：(株)竹中工務店
建物構造：鉄骨造(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)、地上3階
URL：<http://qs-mall.jp/morinomiya/>



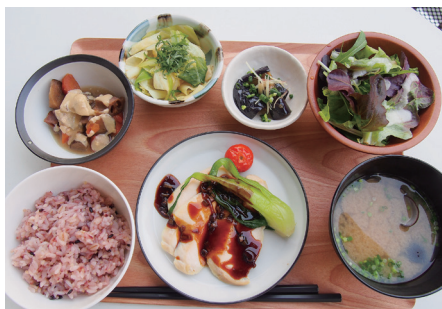
1

最大のの特徴は、無料で利用できる1周300mの屋上ランニングトラック「エアトラック」を設置したことだ。「日本初の走れるSC」としても注目を集めている。さらに、「豊かに生きるSC」として、ココロ・カラダ特区」という新コンセプトを実現するために、スポーツとまちづくりを専門とする2つの団体が施設パートナーとして運営面で協力。地域住民の健康づくりと交流の拠点をめざし、「この地でしかつけないSC」を開発した。

全テナントのうち物販店の比率は4割程度。通常の商業施設は7割近くが物販店だが、収益拡大よりもコミュニティづくりや快適性に主眼を置き、従来の施設とは一線を画す。「物があふれている今の時代、商業施設も似たような店になりがち。激しい競争の中でいかに特色を出していくか。散歩したり、身体を鍛えたりできる地域コミュニティ」と、同社の常務執行役員・岡田正志氏は語る。健康とスポーツに特化した初の本格的なSC「もりのみやキューズモールBASE」は、都心立地の商業施設の新たな方向性を示唆しているといえる。



7



8



5



6

日本のSC

Shopping Center

屋上にランニングトラックを設置した「日本初の走れるSC」

「もりのみやキューズモールBASE」

東急不動産(株)は4月27日(月)、J-R大阪環状線森ノ宮駅からほど近い日本生命跡地に「もりのみやキューズモールBASE」を開業した。ランニングのメッカである大阪城公園や旧日生球場など、スポーツや健康づくりに親しめる地域特性を生かし、ココロとカラダの健康をサポートする施設やテナントが多数集結。商圏人口は2km圏内の約16万人で、家族連れとアクティブシニア、大阪城公園の来園者など幅広い層を対象に、初年度来場者は約400万人を見込んでいる。